



第 4 号 平成19年 1 月  
発 行 番町小学校同窓会  
〒102-0085 千代田区六番町 8  
東京都千代田区立番町小学校内  
TEL 080-3012-1001 FAX (03)3263-3731  
郵便振替口座 00160-7-352085  
編 集 番町小学校同窓会事務局  
印 刷 株式会社 精 興 社

## 平成18年12月 2 日 (土) 創立135周年記念同窓会 開催

会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、同窓会にご支援頂き深く感謝申し上げます。

さて、上記の通り創立135周年を記念して同窓会総会がホテル ニューオータニで開催されました。当日は多数の同窓生の参加を得て、盛大な会となりました。ご参集下さいました皆様には、ご足労頂き有り難うございました。

開会の言葉の後、2006年 5 月21日に開かれた学年幹事会の報告があり、新旧の会長の挨拶。続いて副会長、事務局局長及び事務局員の紹介を行いました。

その後、2005年11月 4 日に亡くなられた故藤岡元会長へ黙祷を捧げるにあたり、同期(昭和17年度)の中村貞男さんにお話頂きました。竹馬の友として60年余りを過ごされて数々の思い出がおりだったと思いますが、限られた時間の中では語り尽くすことが出来なかったのではないかと思います。

故藤岡元会長には、長い間同窓会会長としてご尽力頂きましたことに感謝申し上げますと共に、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

「記念日の歌」を歌い、歓談に移りました。事務局の予想を上回る同窓生が参加して下さったため、一部で席が足りなくなるハプニングもありましたが、終始和やかな雰囲気でした。

あっという間もなく終宴となり、出席者全員で「われらがかざせる」を歌いました。さらに、21世紀に番町の心を歌い継いでいこうという趣旨で作られた校歌「輝いて今日を」(中田喜直氏(昭和10年度卒)作曲こわせたまみ氏作詞)が流れましたが、初めてお聞きになった同窓生も多いのではないのでしょうか。最後に、もう一度「記念日の歌」を歌って閉会となりました。

当日は5年ぶり、あるいはそれ以上ぶりの同窓生も多かったせいも、名残は尽きないようでした。予め同期会を設定していた学年もありましたが、総会での盛り上がりそのままに、深夜まで一緒に飲んだ同級生同士もだいぶあったようです。

次回は5年後、創立140周年を記念しての同窓会となりますが、同窓生の皆様には是非ご参集下さいますよう、ご案内申し上げます。

また、同窓会にはさらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



小学校で開催された

創立135周年記念式典

昭和44年度 西岡芳文

2006年12月2日午前10時より講堂で、創立記念式典が開催されました。当日は寒くもなく、番町の誕生日を祝うかのような好天に恵まれました。

額賀副校長先生の司会で開会した後、新井同窓会長の式辞。番町の歴史を甦らせることができた記念すべき式典であると強調されると同時に、先輩たちの作った伝統の大切さを話されました。星野校長先生の挨拶は、伝統をふまえ、輝かしい歴史をこれからも創り続けていこうという趣旨でした。続いて、来賓の石川千代田区長の祝辞。お二人ともどちらかという大人向けのスピーチだったように思いますが、難しい話でも大人しく神妙に聞いている子どもたちの姿が印象的でした。

その後、記念講演ということで、小生が20分程話をしました。決まった演題がないので、私が小学3年生だった創立95周年の時に記念植樹されたクスノキのこと、祖父との思い出などを話し、最後に、漫画家水木しげるさんの「少年よ、頑張るなかれ!」という言葉を紹介して話を締めくくりました。



最後に、全員で校歌を歌いました。校名の入らない「われらがかざせる」の方が、メロディーも含めて奥床しい気がします。この校歌が二番構成になっていることや、歌詞の正しい意味が分かったのは、卒業してずいぶんたってからだったと思います。

残念に思ったのは、「記念日の歌」を歌わないことでした。昔の「運動会の歌」や卒業式の「行けや友よ」など、どこまで番町オリジナルなのかは知りませんが、歌詞がぐめかしいからといって捨てることなく歌い継いでほしいものです。儀式用の歌曲は、古色蒼然としていて良いのです。1964年の秋、東京五輪に合わせるように校内テレビ

放送が始まりましたが、当時の音楽の担当、徳富先生が作られた「BKB(番町子供放送?)の歌」を覚えている方も多いのではないのでしょうか。私は1年生だったのでエレクトーンの響きも耳新しく、そのメロディーは今も記憶しています。

式典は、滞りなく終了し



ました。135周年というイレギュラーな年ではありましたが、番町の歴史が再確認できたことは大きな収穫でした。5年ごとの記念行事は、在学中に誰でも一度は式典を経験できて良いことだと思います。

最後に、開催にむけて奔走された校長先生、副校長先生をはじめ教職員の皆様、同窓会・愛育会の皆様にお礼を申し上げ、そのご努力を讃えたいと思います。

#### キーホルダー・梅の校章(復刻版)の追加販売について

総会会場で販売致しました創立135周年記念キーホルダーは、好評の内に完売致しました。有難うございました。その後もご要望が寄せられていますので300個を追加製作致しました。今回は、同様に好評を頂いた梅の校章(復刻版)とのセットでご案内致します。

☆価格 **¥2,000.- (送料込み)** キーホルダーと校章各1個のセット

☆お申し込み方法

1.現金書留:ご希望のセット数、住所、氏名、電話番号、ID(お判りにならない場合は

卒業年度・クラス、又は卒業年・クラス)を明記したものを同封

2.振込口座(郵便振替口座 00160-7-35208):振替用紙の通信欄にご希望のセット数、

ID(お判りにならない場合は卒業年度・クラス、又は卒業年・クラス)を明記

※数量限定のため、完売と同時に締め切らせて頂きます。締め切り後にお申し込みの場合は、返金させていただきます。



## ご挨拶

同窓会長 新井巖



この度、黒川会長の後をうけ、本年度より会長職を仰せつかりました新井巖と

申します。諸先輩が数多くいらっしゃる中、地元六番町の町会長などを務めさせて頂いている関係からかご推挙頂きました。誠に若輩ではございますが、どうぞよろしくお願い致します。

思えば、私が番町小学校に入学致しましたのが、昭和25年。その翌年の2年生の時は創立80周年に当たり、昭和天皇をお迎えしてから既に半世紀以上が経っております。そして今年、めでたく135周年となりました。過日、お祝いの同窓会を開催致しましたが、多くの同窓生にご参集頂き有難うございました。

ちなみに皆様もご存知の「明治四年のこの月この日・・・」と『記念日の歌』にも歌われていたように、番町小学校の創立は明治4年12月4日ということになっております。しかし、文献などを見ますと、その前年の明治3年6月に市ヶ谷八幡の洞雲寺で開設したという記録があります。この1年半のラグはなんなのでしょう。これを説明する記事が、明治32年発行の『風俗画報』という雑誌に記載されておりました。ちょっと長いのですが、一部をご紹介します。

「市立番町高等小学校は、麴町区下六番町三十六番地にあり。本校を設立せしは、明治三年六月にして、当時東京府庁より仮小学を、府下六箇所に創置せらるるに当たり、本校をその第二校と定め、これを市ヶ谷八幡町洞雲寺に

開設をもって、創始とす・・・しかるに四年十二月四日文部省の所轄となり、仮小学の名称を廃し、小学第二校と称え、ここに初めて開校の式を挙げたり。ゆえにこの日をもって本校設立の年月と定む（旧字など一部読み下し）」とあります。

つまり、明治3年はあくまでも“仮の学校”の設立で、明治4年からが正式に小学校になったことから、この日を創立の日としたということのようです。いずれにしても創立135年といえ、まさに日本の近代の歴史とともに歩んできた小学校でもあるのです。

そんな歩みに思いを馳せながら、皆様とともにこの歴史と伝統のある番町小学校を同窓生の一員として支えていけたらと存じます。改めて、よろしくお願い致します。

## 「公適配」の試練を超えて

前同窓会長 黒川浩



この度、同窓会会長を退任することになりました。

番町小学校は両親の母校であり、私も妹も学び、卒業と共に同窓会の幹事になり、長く務めてきました。沢山の思い出の中でも平成3年12月、千代田区が「公共施設適性配置（公適配）」構想を発表し、番町の存続が危ぶまれたのは大ショックでした。退任のご挨拶に代わり、その経過をご報告させていただきます。

公適配の内容は、「小学校はすべて一旦廃校とし、たとえ存続する場合も、創立ゼロ年からスタートする。校名・校章・校歌は新しくする」というものでした。この大事を知り、同窓会の有志を中心に地域・保護者たちが多数集まり「廃校に反対し、“三種の神器”（校名・校章・校歌）を守ろう」と、話し合いました。

校名の「千代田第二小学校」という

原案は撤回させたものの、「千代田番町小学校」となり、ようやく「番町」に戻ったのは、平成6年の卒業式直前でした。しかし、千代田の冠こそ省いて本来の校名に戻りましたが、校章と校歌は新しく制定されることになりました。承服しなかったのは番町だけでしたが、このため校章と校歌が消えるという異常な状態が長く続きました。

平成7年、校章は「梅の形を残すが、若干のデザインを変える」という学校案に押し切れ、今の形になりました。校歌「われらがかざせる」が歌えるようになったのは、さらに遅れて平成12年の卒業式でした。同時に、中田喜直さん（昭和10年度卒）にお願いした「輝いて今日を」がもう一つの校歌として誕生し、以来学校行事では二つの校歌を続けて歌うようになりました。しかし、記念日の歌「明治四年のこの月この日は…」は凍結されたままです。

敗戦直後に起きた廃校問題は、短い混乱で解決したのに比べ、“平成の廃校問題”は実に10年を費やしました。そして、長い混乱のため、同窓会の新組織確立は中断せざるを得ませんでした。

一応落ち着いた平成13年12月の創立130周年記念同窓会で皆様の賛同を得て、学年幹事会を中心に組織作りが進められました。会則の作成、名簿の整備、会報の発行、5年毎の定期総会の決定等を手がけ、皆様のご支援やご協力、事務局の精力的な活躍のおかげでようやく軌道に乗ってきました。

後顧の憂いなく後進にバトンタッチ出来るのを御礼申し上げるとともに、番町小学校同窓会のさらなる発展を願います。

ご宿泊・会議・ご宴会  
**龍名館本舗**  
〒101-0062 千代田区神田麹河台3-4  
☎3251-1135

登録商標 ぶんせんもなか  
**文銭最中**  
東京/新橋・三田  
御菓子司 文銭堂本舗  
☎03-3591-8881  
<http://www.bunsendo-honpo.com>

## 【事業報告】

### 1. 会議の開催

事務局会議

第1回 平成17年07月21日（木）  
第2回 平成17年10月22日（土）  
第3回 平成17年11月06日（土）  
第4回 平成18年02月12日（日）

理事会

平成17年04月09日（土）  
  
学年幹事会  
平成17年06月04日（土）

選挙管理委員会

第1回 平成17年12月03日（土）  
第2回 平成18年02月12日（日）

### 2. 活動

Home Coming Day 平成17年12月03日（日）

ビーズ講習会第1回 平成17年11月26日（土）

第2回 平成18年01月14日（土）

会報発送 8,720通（うち宛先不明で戻ったもの1,337通）

同窓会U-20 平成18年04月01日（土）

番町子ども会打合せ（事務局庶務出席）

第1回H17.05.28

第2回H17.06.25

第3回H17.07.16

第4回H17.09.03

### 3. 番町小学校行事

入学式 平成17年04月06日

番町子ども会 平成17年09月10日

運動会 平成17年10月01日

勤労感謝の会 平成17年11月18日

学芸会 平成17年12月03日

謝恩会 平成18年03月08日

卒業式 平成18年03月24日

## 【会長・副会長選任】

会長 新井 巖（昭和30年度）

副会長 井上 智雄（昭和25年度）

〃 岩瀬 裕全（昭和36年度）

副会長 和田 一郎（昭和39年度）

〃 大井田 基（昭和44年度）

選挙公示期間中に上記の方々が推薦され、推薦書及びご本人の承諾、押印を確認致しましたので、理事会にご報告致します。

選挙管理委員会

学年理事会において確認致しましたので、学年幹事会に上記の方々を推薦致します。

同時に、市原 俊一氏（昭和49年度）を副会長に推薦することを満場一致で決定致しましたので、合わせて報告致します。

学年理事会

学年幹事会において上記を確認しましたので、満場一致で選任致しました。

学年理事会

## 【事務局員選任】

事務局長 豊島 快兒（昭和41年度）

経理 片岡 勝吾（昭和45年度）

庶務 中村久美子（昭和41年度）

〃 浜田 敏男（昭和41年度）

〃 乙幡 徳子（昭和42年度）

経理 津田真知子（昭和46年度）

庶務 本木 京子（昭和42年度）

〃 岡本 正美（昭和43年度）

〃 瀬戸口明子（昭和43年度）

以上の方々が立候補及び推薦され、推薦された方についてはご本人の承諾及び押印を確認致しましたので、理事会にご報告致します。

選挙管理委員会

学年理事会において上記を確認しましたので、事務局員として選任致しました。

学年理事会

## 【平成16年度寄付者ご芳名（敬称略）】

氏名	ID	寄付	氏名	ID	寄付
田村 雅通	S41-223	30000	廣田 光子	S07-426	3000
井上 智雄	S25-104	28000	伊藤 誠治	S11-207	3000
岩瀬 秀郎	S19-121	20000	宇佐美 泰子	S13-403	3000
石崎 満	S20-143	20000	小澤 利男	S15-104	3000
広野 秀樹	S36-228	16000	坂田 吾朗	S15-430	3000
横山 和輝	S21-198	12000	武貞 建男	S15-433	3000
加藤 恭	H02-208	10000	松林 澄男	S18-252	3000
北條 瑤子	H13-229	10000	桑名 昭治	S19-227	3000
古澤 正文	S11-145	10000	永井 立昇	S19-233	3000
藤本 俣子	S15-138	10000	小池 圭子	S21-218	3000
深川 京子	S15-160	10000	中井 仁子	S21-231	3000
河西 沙喜子	S15-219	10000	久保 友子	S26-233	3000
降旗 史子	S19-331	10000	中村 重遠	S29-126	3000
内田 禮江	S19-407	10000	横山 王珂	S29-337	3000
高橋 治子	S21-224	10000	高橋 俊雄	S30-221	3000
吉田 眞耶子	S24-236	10000	大勝 尚史	S30-310	3000
草刈 真由美	S32-341	10000	佐宗 邦夫	S37-419	3000
石垣 幸雄	S37-303	10000	風間 清貴	S37-508	3000
浜田 敏男	S41-530	10000	虎岡 寛道	S41-225	3000
後藤 茂之	S42-111	10000	中村 克朗	S42-222	3000
作田 亮一	S43-421	10000	立川 誠二郎	S42-328	3000
大柴 繁	S44-510	10000	平田 真弓	S42-351	3000
藤田 由希子	S45-140	10000	原 真人	S43-333	3000
井上 善雄	S51-407	10000	寺岡 たえ子	S44-253	3000
中嶋 俊一	S47-323	9000	旭 直人	S44-401	3000
三川 泉	S08-348	8000	田中 映里子	S44-451	3000
岩垣 寿子	S08-446	8000	坪倉 栄	S44-548	3000
荒木 律子	S13-424	8000	堤 恵利子	S46-242	3000
山本 康	S15-331	8000	渡邊 宗行	S47-435	3000
中尾 武弘	S15-356	8000	藤川 伊知郎	S55-228	3000
野末 修也	S15-443	8000	町田 由美	S57-437	3000
鈴木 賢子	S16-144	8000	岡田 雅樹	S60-306	3000
坂 篁一	S16-322	8000	土屋 輝余子	S63-231	3000
森川 敏雄	S19-245	8000	水口 直樹	H05-321	2000
青山 幸郎	S19-526	8000	清水 善子	S14-522	2000
山地 三六郎	S30-134	8000	飯塚 純一	S15-901	2000
伊藤 登輝子	S30-307	8000	島本 朋子	S30-326	2000
成田 弘子	S32-142	8000	柳沢 賢一郎	S30-353	2000
佐々木 秀子	S38-245	8000	望月 慎太郎	S41-232	2000
加藤 明成	S42-105	8000	吉田 行弘	H05-323	1000
西岡 芳文	S44-127	8000	殿水 淳	H06-214	1000
内藤 恭子	S44-246	8000	清水 理邦	H15-120	1000
雨宮 明文	S45-201	8000	湯地 友子	S10-403	1000
金 民世	S50-109	8000	室積 昭二	S13-215	1000
金澤 賢一	S58-310	8000	熊野 純子	S15-201	1000
米沢 龍太郎	S63-124	8000	藤岡 貞雄	S17-442	1000
殖田 久莊	S20-105	6000	村松 正實	S18-257	1000
伊藤 みつる	S36-642	6000	田中 啓子	S18-318	1000
野口 田鶴子	S11-336	5000	笠原 禎子	S19-323	1000
長谷川 暢男	S12-127	5000	蛭田 ふみ子	S19-420	1000
小林 浩	S12-215	5000	向井 郁子	S27-251	1000
井村 一郎	S15-306	5000	清水 寿子	S29-253	1000
木口 豊	S15-420	5000	岡村 和子	S29-345	1000
相川 幸子	S16-202	5000	林 瑳知子	S30-147	1000
吉永 幹子	S30-314	5000	室井 邦夫	S30-349	1000
神原 礼文	S44-214	5000	柴田 範子	S36-456	1000
新井 真門	H13-103	4000	後藤田 尚吾	S38-109	1000
岡田 善之	H01-207	3000	浅倉 光恵	S38-550	1000
眞山 仁	H04-318	3000	田原 績	S45-424	1000
眞山 知	H06-318	3000	菅谷 良裕	S45-515	1000
岡 澄子	S03-334	3000	熊野 伊嘉	S46-141	1000
小島 光二	S07-220	3000	中村 真理子	S46-343	1000

## 【平成17年度寄付者ご芳名（敬称略）】

氏名	ID	寄付	氏名	ID	寄付
故藤岡 貞雄様夫人		50000	星野 雅信	S42-228	3000
井上 智雄	S25-104	28000	川又 波真江	S42-541	3000
渡辺 和夫	S14-356	18000	原 真人	S43-333	3000
昭和12年度同期会		17520	杉村 信寿	S44-117	3000
上埜 昭子	S06-337	10000	西岡 芳文	S44-127	3000
古澤 正文	S11-145	10000	西岡 真理子	S44-147	3000
藤本 俣子	S15-138	10000	中井 悦朗	S44-232	3000
相川 幸子	S16-202	10000	坪倉 栄	S44-548	3000
諫山 高雄	S19-213	10000	渡邊 宗行	S47-435	3000
森川 敏雄	S19-245	10000	井上 善雄	S51-407	3000
降旗 史子	S19-331	10000	佐藤 泰広	S51-415	3000
石崎 満	S20-143	10000	藤井 撰	S52-123	3000
市原 溢子	S21-208	10000	松島 正和	S52-221	3000
草刈 真由美	S32-341	10000	外池 いずみ	S52-332	3000
佐伯 元子	S33-345	10000	奥島 雄一郎	S55-306	3000
國武 久子	S37-448	10000	堀口 貞治	S56-319	3000
後藤 茂之	S42-111	10000	栗原 伸芳	S59-206	3000
下島 淳子	S48-237	10000	堀口 昌俊	S59-420	3000
大内 昌和	S58-106	10000	早川 淳	H03-215	2000
児玉 武士	H01-211	8000	小関 了三	S03-142	2000
小林 浩	S12-215	8000	滝 三重子	S03-440	2000
岩動 麗	S12-323	8000	山口 茂	S07-160	2000
荒木 律子	S13-424	8000	矢田 文子	S07-423	2000
蔵原 正昭	S14-116	8000	浦山 直子	S08-540	2000
武藤 恒雄	S14-347	8000	秋山 一	S09-102	2000
岩瀬 秀郎	S19-121	8000	池上 公哉	S11-206	2000
真田 寿彦	S30-216	8000	中村 善次郎	S12-123	2000
成田 弘子	S32-142	8000	平岡 信生	S12-130	2000
三倉 文宏	S33-231	8000	杉本 勝子	S15-156	2000
石垣 幸雄	S37-303	8000	河西 沙喜子	S15-219	2000
執行 友成	S39-515	8000	飯塚 純一	S15-901	2000
浜田 敏男	S41-530	8000	中川 よ志子	S17-149	2000
竹川 勝治	S49-219	8000	仲野 治雄	S17-436	2000
山本 博意	S51-228	8000	西田 敬宇	S21-176	2000
並木 日路子	S58-127	8000	高橋 治子	S21-224	2000
猪口 貞樹	S40-506	6000	前山 紀子	S26-242	2000
五十嵐 真	S14-304	5000	河野 吉晴	S40-415	2000
渡辺 安	S48-230	5000	小池 郷子	S41-545	2000
原田 暁作	S10-143	4000	平田 真弓	S42-351	2000
安間 英潮	S46-131	4000	片岡 さゆり	S47-438	2000
吉住 太志	H02-225	3000	小原 正幸	S51-413	2000
田畑 豊子	S03-339	3000	田端 薫	S54-129	2000
丸山 三郎	S09-118	3000	岡 澄子	S03-334	1000
小原 清英	S11-217	3000	岩垣 寿子	S08-446	1000
今澤 延子	S11-307	3000	青木 節子	S11-432	1000
佐田 登志夫	S12-113	3000	小澤 利男	S15-104	1000
長谷川 暢男	S12-127	3000	熊野 純子	S15-201	1000
五代 正武	S13-208	3000	大和田 章子	S15-220	1000
境 寿美	S13-359	3000	那須 榛名	S16-343	1000
城 昭子	S13-418	3000	田中 啓子	S18-318	1000
木口 豊	S15-420	3000	水谷 洋子	S19-333	1000
堀口 雅子	S16-133	3000	金井 和子	S19-411	1000
古殿 重来	S17-119	3000	正木 美樹子	S20-930	1000
鈴木 謙一	S18-233	3000	古沢 岑生	S22-208	1000
黒川 浩	S19-221	3000	中山 秀夫	S22-905	1000
内田 禮江	S19-407	3000	清水 勝治	S24-112	1000
恩慈 宗武	S26-107	3000	本山 房子	S27-235	1000
池田 清	S26-202	3000	向井 郁子	S27-251	1000
横山 王珂	S29-337	3000	島本 朋子	S30-326	1000
岡村 和子	S29-345	3000	岩瀬 琢郎	S32-205	1000
山岡 照吾	S30-133	3000	額田 麻倫子	S32-350	1000
高橋 俊雄	S30-221	3000	望月 慎太郎	S41-232	1000
大勝 尚史	S30-310	3000	大石 義和	S42-204	1000
吉永 幹子	S30-314	3000	和田 高士	S43-543	1000
亀井 隆夫	S30-316	3000	瀬戸口 明子	S43-553	1000
岡本 幸憲	S33-111	3000	中島 由美子	S44-251	1000
遠藤 博文	S33-307	3000	大川 久爾子	S44-445	1000
伊能 正子	S33-440	3000	吉沢 茂	S45-434	1000
成田 幸子	S34-553	3000	堤 恵利子	S46-242	1000
広田 陽一	S37-130	3000	上田 里花	S55-129	1000
那須 薫	S37-355	3000	岩田 知	S57-104	1000
伊藤 力	S38-504	3000	町田 由美	S57-437	1000
斉藤 総一郎	S40-112	3000	廣田 光子	S07-426	4740 (切手)

# 平成17年度収支決算報告

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

前期繰越金	3,902,344円
収入金	3,105,651円
支出金	4,270,174円
当期収支差額	△1,164,523円
次期繰越金 (前期繰越金 + 当期収支差額)	2,737,821円

## 1. 収入の部 (単位：円)

卒業生入会金 (17年度卒業生86名)	86,000
会費 (寄付を含む)	2,998,920
記念誌売上金	10,000
雑収入 (16年度卒業生より寄付)	10,345
利息	386
収入合計	3,105,651

## 2. 支出の部 (単位：円)

活動費	159,991
慶弔費	85,332
会議費	64,914
通信費	560,057
印刷・事務費	192,968
会報作成費	1,186,500
インターネット関係費	108,150
資料室整理費用	0
事業準備引当金 ※	1,200,000
活動準備引当金	700,000
雑費	12,272
支出合計	4,270,174

※当期収支差額が大幅な赤字となるのは、前同窓会より引き継いでいた周年事業準備引当金の為の定期預金120万円を、今期事業準備引当金として計上した為である。

以上の通り報告致します。

平成18年3月31日

経理担当 片岡 勝吾

津田 真知子

# 創立135周年記念同窓会収支報告

## 1. 収入の部 (単位：円)

項目	金額	備考
会費	2,628,000	438人
寄付	388,000	40件
活動準備引当金取崩収入	1,900,000	平成18年度通常予算
キーホルダー代金	200,000	愛育会
キーホルダー・校章売上	286,000	
雑収入	5,146	利息、その他販売代金
計	5,407,146	

収入金 5,407,146

支出金 5,380,211

収支差額 26,955

(創立135周年記念 U-20に使用)

## 2. 支出の部 (単位：円)

項目	金額	摘要
事業費	2,594,170	飲食・会場費、お土産代、司会謝礼
記念品製作費	918,600	創立135周年記念キーホルダー (追加製作分含む)、校章
通信費	909,240	総会案内発送、返信葉書
印刷費	440,620	封筒、総会案内、葉書、式次第、入場券
渉外費	33,967	
事務費	10,548	
会議費	16,882	
消耗品費	152,904	上質紙、タックシール、トナー
雑費	3,260	振込手数料
記念事業費	300,000	
計	5,380,211	

以上の通り、報告致します。

平成18年12月27日

事務局庶務 中村 久美子







## 【同期会便り】

### 「またも昭和33年度同期会」報告

岡部 仁

前年5月、初めて開いた同期会については、番町小同窓会報第3号の「同期会便り」に詳しい報告を載せて頂きました。

みんな還暦を迎える今年も開くぞ…という幹事団のけなげな決意に引っ張られるように、月日も同じ5月14日(日)の午後、会場も同じスクワール麴町(四谷駅前の消防署跡)で盛大に開かれました。



前年の同期会は卒業以降初めて、46年ぶりの再会で盛り上がりましたが、今年も2組担任の生島信夫、3組担任の戸塚綾子両先生がお元気に姿を見せて下さったのを筆頭に59人が参加しました。今年初参加も数人いましたが、多くは前年に続いた顔合わせとあって、クラスごとに分かれて作られた丸テーブルを渡り歩いて旧交を温めあう人、立食パーティのようにバイキング料理を囲んで話の輪が出来るなど、落ち着いた雰囲気での幼な馴染みとの1年に一度の交流を楽しんでいました。

また、この同期会の成功に味を占めた?のか、麴町中学校の同期会を開く構想もこの会場を持ち上がりました。中学校ともなれば同期生の数も格段に多くなり、幹事をはじめ各クラスのとめ役の協力がないと成功は覚束ません。還暦を迎える今年がチャンスなので、秋をめどに開く方向で計画が詰められ、11月に開催されました。

この日の同期会は2時間があったという間に経ち、会場を移して2次会を続行、去りがたい約50人が残ってにぎや

かに過ごしました。

### 「異色・親子同窓会」

岡野 洋三

昭和41年度6年2組(通称・竹馬会)のクラス会が平成18年9月3日(日)、四ツ谷駅前のプラザF(主婦会館)で開かれました。前回から5年ぶりですが、これまでと大きく違ったのは母親同伴のクラス会となったことです。それは、同級生のお母さんの「親同士の同窓会があれば」という一言がきっかけだったのですが、それを伝えてきた本人は急に海外赴任が決まり、欠席したのは残念でした。当日は同級生19人、母親9人の計28人が参加しました。

近況報告を聞きながら、かすかに残る少年の頃の面影を手掛かりに名前を確かめていましたが、やがてピロティエーでの「片足相撲」や旧校舎地下室の「探検」などに話が及び、40余年前にあったという間に逆戻りです。母親たちは、番町小への格別の思いをそれぞれ披露。炎暑の夏の夜、小学校のプールに忍び込んで深夜の水泳を楽しんだ後、丸裸で家へ帰った「つわもの」がいたとの秘話も明かされ、当事者は思わず頭をかく、という場面もあった楽しい3時間でした。

正直なところ、最初に親子同窓会という企画を持ち掛けられた時は、「いい歳をしてマザコンと言われやしないか」と気後れしていました。しかし、世話好きの仲間に背中を押されて呼び掛けた結果、取り越し苦労だったと分かりました。子どもが卒業した後は、親同士が顔を合わせる機会がないだけに、ある父君は後日「自分も出席した



かった」と悔しがられたとか。集まった同窓生からは、「親孝行な企画」との賛辞(?)を受けました。ただ担任の富川実先生が6年前に他界され、男の同窓生2人が既に鬼籍に入ったことは痛恨の極みです。

わがクラス会は、公適配による統廃合問題を機に同窓生の所在確認に奔走してくれたT君のおかげで、14年前に本格的に再開しました。日ごろのストレスから離れ、気兼ねなく語り合える貴重な集いがこれからも幅広く、末永く続くよう願ってやみません。

### 昭和44年度(第97期)同期会

西岡 眞理子

平成17年12月3日(土)午後6時よりアルカディア市ヶ谷(私学会館)で、58名の参加を得て開かれました。今回



は、大半の同期生が酉年48歳のお祝いの会でした。同日同時刻、1階下では昭和43年度同期会も開かれていたため会場を間違えた方も多く、受付幹事と同窓生が顔を見てもお互い昔の顔がわからない、アナタはもしかして1年先輩では、という場面が何度もありました。

3組担任の正田州男先生が、2年前の前回以上のお元気でゲストとして出席下さり、特別ゲストとして昔より今も変わらず番町の子供たちのサンクチュアリ、ニコニコ堂店主小林妙子様をお招きしました。「ニコニコ堂のお姉さん」のお話は、懐かしさでいっぱいでした。

余興として、元器楽部女性二人の「KYONKYON & MARIRIN」(内藤[大目向]恭子さん、西岡[新井]眞

理子)の歌と演奏で場を盛り上げました。実は、同期生で日本が誇るベースト櫻井哲夫君を無理やり引っ張り出す計画だったのですが、風邪で急遽欠席とのことで残念でした。

最後に、全校集会の時いつも壇上で指揮していた器楽部の華、塚田〔渡辺〕初美さんの指揮で「記念日の歌」と校歌「われらがかざせる」を全員で斉唱し、散会しました。今回は、麴町中学同期会復活を目指して麴町小学校1名、永田町小学校4名の同期生も出席しました。

2次会は、ラウンジで43年度の先輩たちと合流して盛り上がり、出席者全員で当時教わった岩上廣志先生の指揮のもと、極めて格調高く「われらがかざせる」を歌って締めました。岩上先生の指揮に全員びしっとひきしまり、12歳の心を取り戻したようでした。

昭和44年度同期会は、2年毎、創立記念日前後の土曜日にアルカディア市谷で開催します。次回は2007年12月1日(土)を予定。ご出席下さい。

## 【1年間の事業から】

### Home Coming Day

2005年12月3日(土)、Home Coming Dayを実施しました。小学校の資料室を開放し、学年会・クラス会を開く学年に集合場所を提供するという内容で2年目を迎えました。

「卒業以来、初めて訪れた」という同窓生が、懐かしそうに写真に見いつていらしたのが印象的でした。

### 同窓会U-22

新入会員を含む若年層会員向けとして好評の企画「同窓会U-20」ですが、今年は小学校の都合で当初の予定より1週間順延し、2006年4月1日(土)に開催しました。



当日は、卒業したての6年生はもとより、沢山の中高生が集まって恒例のビンゴに一喜一憂。その後は、久しぶりにあった友人とおしゃべりを楽しみ、校庭でサッカーやバスケットに興じました。

### 番町子ども会

愛育会と学区の町会が毎年開催している「番町子ども会」に、在校生との交流を深めるため参加しています。

今年度も9月9日(土)午後1時30分から開催され、同窓会は、創立135周年ということで昔懐かしい駄菓子屋さんを出店。子どもたちは初めて見る駄菓子をとめつすがめつ、好みのお菓子を選んでいました。

その他、愛育会のかき氷、小学校の白玉、ニコニコ堂さんのにこにこくじなど色々なブースがあり、800人以上の子どもたちが夏の終わりを満喫しました。



### 【会費納入のお願い】

会報発行と会員への送付、同窓会HPの拡充やイベントの開催等、様々な事業を展開する為、平成15年度より年会費(2,000円)を頂戴することになりました。趣旨をご理解頂き、年会費の納入をお願い致します。(収入に関する細則第3条により、20歳以下の会員は免除されます。)

つきましては、会費納入用の郵便振替払込用紙をお送り致しますので、**平成19年3月30日迄**にお振込下さいようお願い申し上げます。併せて、前年度の分の会費が未納の方は、加えて納入をお願い致します。

ベルマーク収集にご協力頂き、有難うございました。  
(順不同・敬称略)  
赤松きよ子、大谷愛子(故大谷秀正氏夫人)、  
工藤 純、関山 亮、中村香織、南條杏奈、  
丸山洋子、三浦詮子、  
引き続きご協力お願い致します。

HPは現在改装のため、休止しております。  
今しばらく、お待ち下さい。

題 字：内田禮江(昭和19年度卒)  
校章デザイン：鈴木健之(昭和45年度卒)

### 【事務局から】

☆ 昨年度、ご協力をお願いしたベルマーク収集ですが、早速送って下さった同窓生の皆様、有難うございました。お名前は左に掲載させて頂きました。

ベルマーク運動とは、「すべての子どもに等しく、豊かな環境の中で教育を受けさせたい」という願いをこめて始まった運動です。ボランティアで生み出された資金で学校づくりを進め、さらに国内外でハンディを背負いながら学んでいる子どもたちに手を差し伸べます。ベルマークは、普段使っている歯磨きや石鹸、文房具、電池、食品や飲料品などに付いています。それらのマークを5mm程度の余白を残して切りとり、下記までお送り下さい。送料はご寄付頂ければ幸いです。

〒102-0085

千代田区六番町8 千代田区立番町小学校内

番町小学校同窓会事務局ベルマーク係

☆ 今年度は、創立135周年記念同窓会を掲載するため、会報の発行を例年より遅く致しました。「届かないのですが…」とご心配の電話を頂いて、拙い会報でも待つて下さっている同窓生がいらっしゃるのだと有難く思いました。と同時に、さらに良いものを作っていこうと改めて考えました。これからも宜敷くお願い致します。

☆ 会報に初めて広告を載せました。今回の記念同窓会にご協力を頂いた同窓生の会社です。今後も、ご連絡頂ければ随時ご紹介したいと思います。